

第5回精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会

家族の関わりとしての提案



公益社団法人

全国精神保健福祉社会連合会

- ・家族による学習会事業（アドバイザー・担当者養成含）の実施
- ・電話相談の実施
- ・家族内各立場のグループ活動の展開
（交流・情報交換・書籍など）
- ・家族向けオンラインチャット（みんなねっとサロン）の開設運営

・家族による学習会事業（アドバイザー・担当者養成含）の実施

精神疾患を患った方のいる家族を「参加者」として迎え、
同じ立場の家族が「担当者」としてチームで運営・実施する、
小グループで行う全5回の体系的なピアサポートプログラムです。

決められたテキストを全員で読みながら、体験を語り合います。
その中で、疾患・治療・回復・対応の仕方などについての正しい情報
とともに、家族自身の体験に基づいた知識や知恵を共有しながら、
家族同士の支えあいの場を提供します。

家族学習会を契機に、子どもの立場や、配偶者の立場などの新しいグ
ループが立ち上がるなど、学習にとどまらない効果も上げています。

「家族による家族学習会」

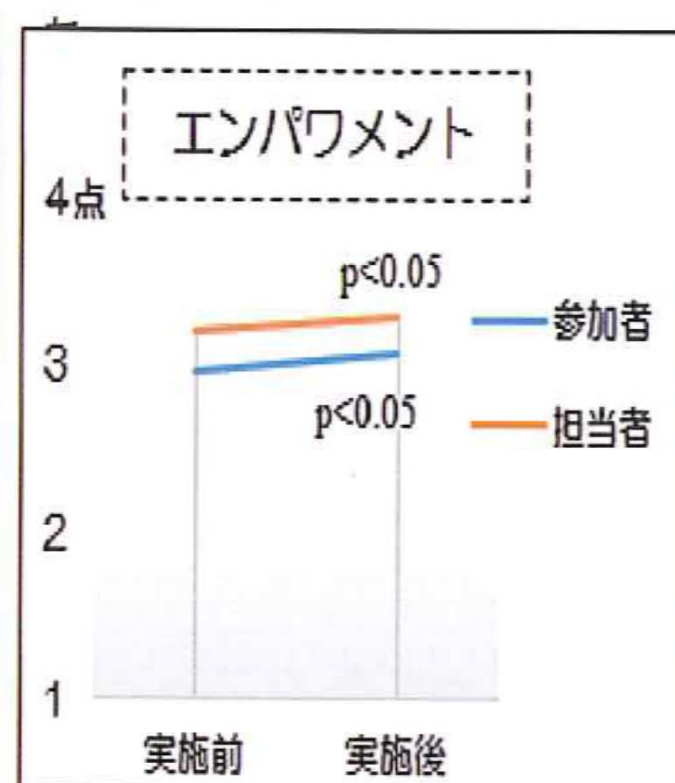
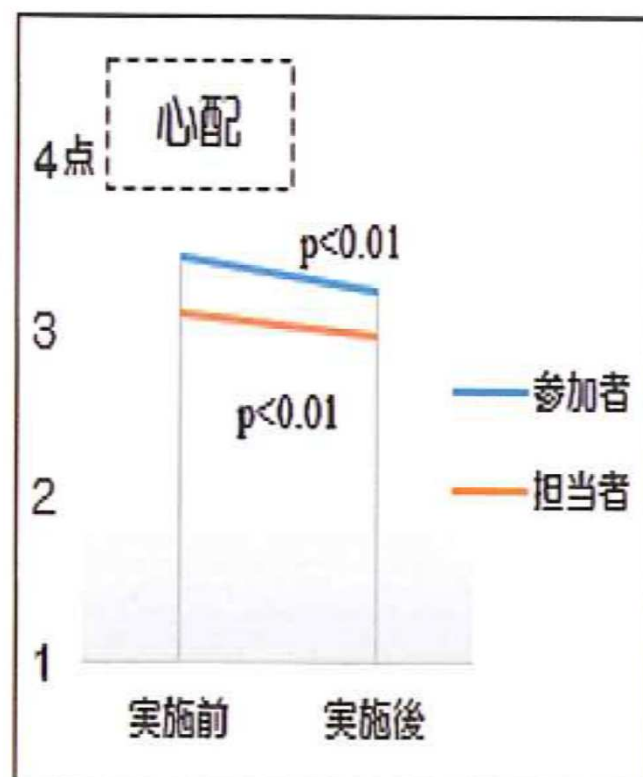
エビデンスに基づく共助プログラム



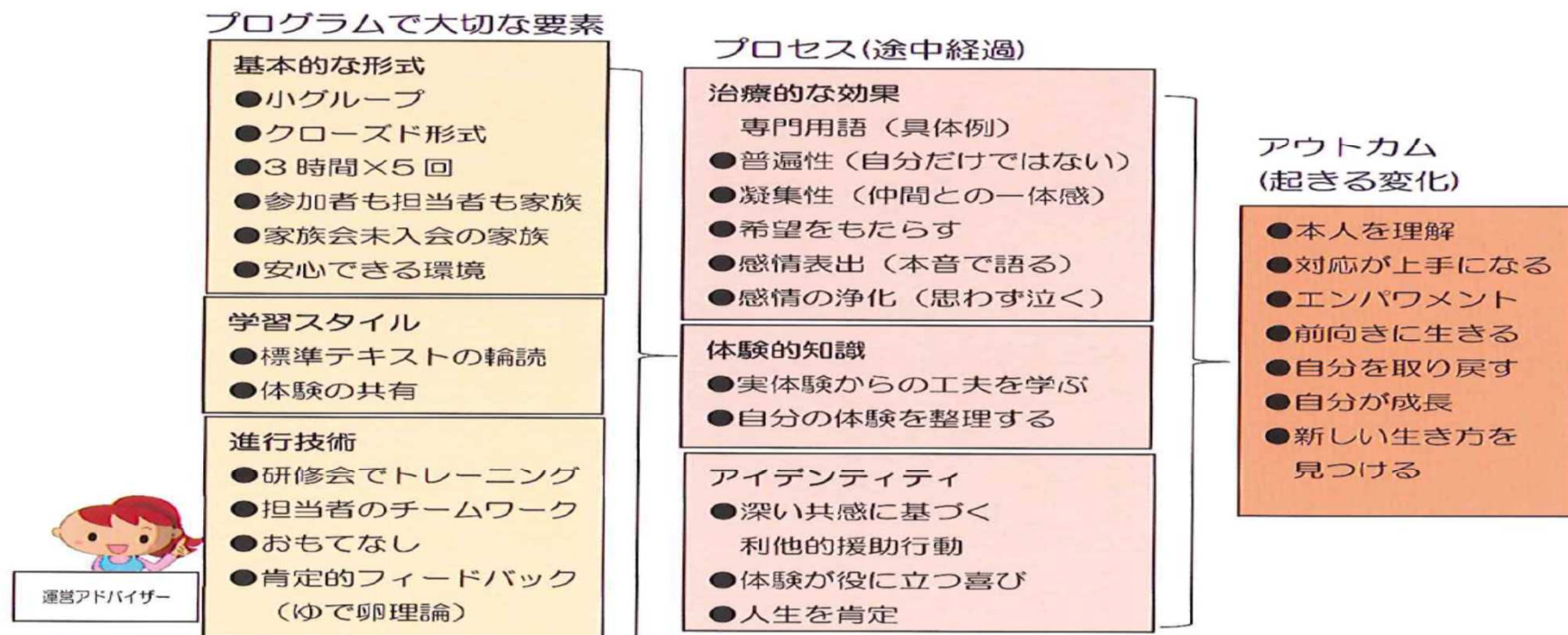
【効果のエビデンス】 参加者（参加家族）と担当者（進行する家族）の両者に効果がある

「家族による家族学習会」プログラム（以下、家族学習会）の前後に、参加者と担当者に自記式問紙調査を行いました。その結果、参加者と担当者ともに、プログラムに参加することで「心配」の程度が低下し、「エンパワメント」が高まっていました。このように参加者と担当者の両方に効果が認められました。

注）参加者 112 名、担当者 83 名、検定は Paired-t test、FMQ (Family Member Questionnaire) (Dixon et al., 2004) の心配、エンパワメントの下位尺度、当てはまらない（1 点）～当てはまる（4 点）の平均。点数が高いほど心配/エンパワメントが促進を意味する。



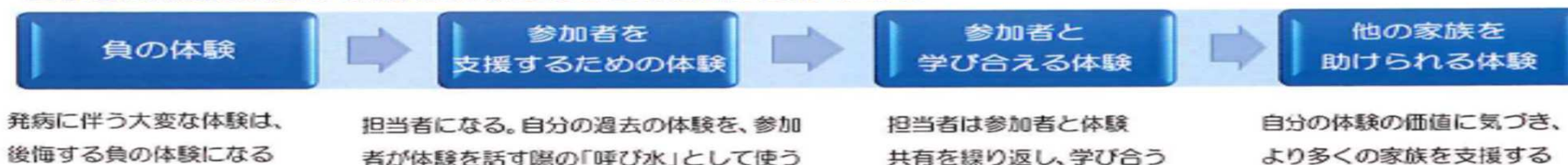
家族学習会が効果的なプログラムであることには、理由があります。プログラムをマニュアルに忠実に実施すると、以下のような変化が生じることが明らかになっています（文献②③）。



運営アドバイザーは、プログラムの大切な要素が規定通りに実施されるように支援し、質の担保を図ります

まず、プログラムの「基本的な形式」によって、グループ機能が高くなり、治療的な効果を発揮します。また、「学習スタイル」によって、体験的知識を身につけたり、体験を整理します。さらには、担当者は、「進行技術」を繰り返し、聴き上手・ほめ上手になり、家庭の「お茶の間」でも本人との対応が上手になります。担当者は、過去の負の体験が人の役に立つことに喜びを覚え、社会的役割を見出し、「アイデンティティ」を再構築します。自分の人生を肯定し、新たな人生を歩み始める方もいます。

当事者の発病に関連して家族が体験したことの価値の変化（文献④）



【どのように質を担保しているのか】 運営アドバイザーが実施場所を訪問し、担当者を支援

家族学習会では、ご家族が参加者、担当者、運営アドバイザーとして役割を担うしくみがあり、運営アドバイザーが質の担保を図ります。



運営アドバイザーの役割とは・・・

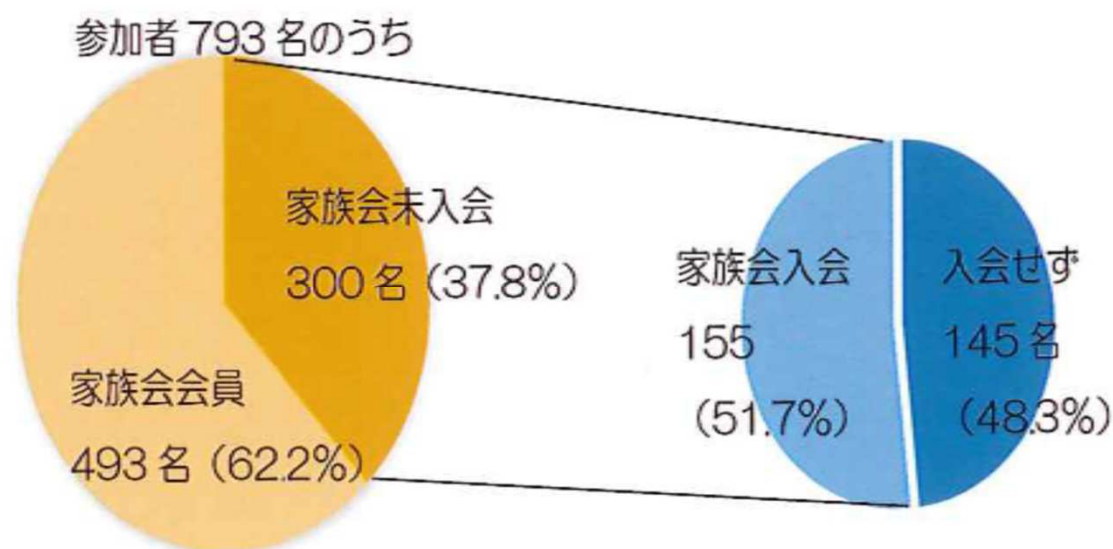
プログラム開催場所を訪問し、妥当性と信頼性が検証された「アドバイザーチェックシート」を用いて、マニュアルに忠実に実施できているかを確認し、助言や支援をします。忠実に実施するほど高い効果を得られることが明らかになっています（文献③）。



【プログラムの波及効果】 家族会の組織が発展する

家族学習会に参加した家族のうち、家族会に入会していない家族は、約4割にのぼります。そのうち約半数が家族学習会を修了した後に、家族会に入会しています。これは、参加者が家族学習会に満足したことを反映しているとともに、家族会の組織発展にも効果があることを示しています。

文献⑤



精神障がい者家族会は、全国的に減少しています。新しい家族が入会しない、会員の高齢化等が理由です。

【プログラムの波及効果】 地域生活中心の医療推進に貢献する可能性を秘めている

平成 27 年度は、大阪府の精神科病院 2 か所において、地域の家族会が病院に出向いて「家族学習会」を実施しました。いずれの病院も家族支援に積極的に取り組む病院です。病院職員は、家族学習会の会場・資金を提供し、参加者募集を手伝います。実際にプログラムを運営、進行するのは、担当者の家族のみです。病院に通院・入院している患者さんのご家族が多く参加されます。家族学習会の中では、家庭での困り事その他、病院で傷ついたことも率直に話されます。病院職員は、普段聴くことのない家族の本音を聴き、病院運営に役立てていました。また、家族は回復へ向かい、地域の家族会とつながることで、孤立せずに本人を支援できます。地域生活を中心とした医療が推進されていますが、家族への支援がなければ、地域で支えることは困難です。家族学習会を病院で実施することは、地域生活中心の医療推進に貢献する可能性を秘めています。

【プログラムが普及するために】 普及させるためには、関係者の理解と支援が必要

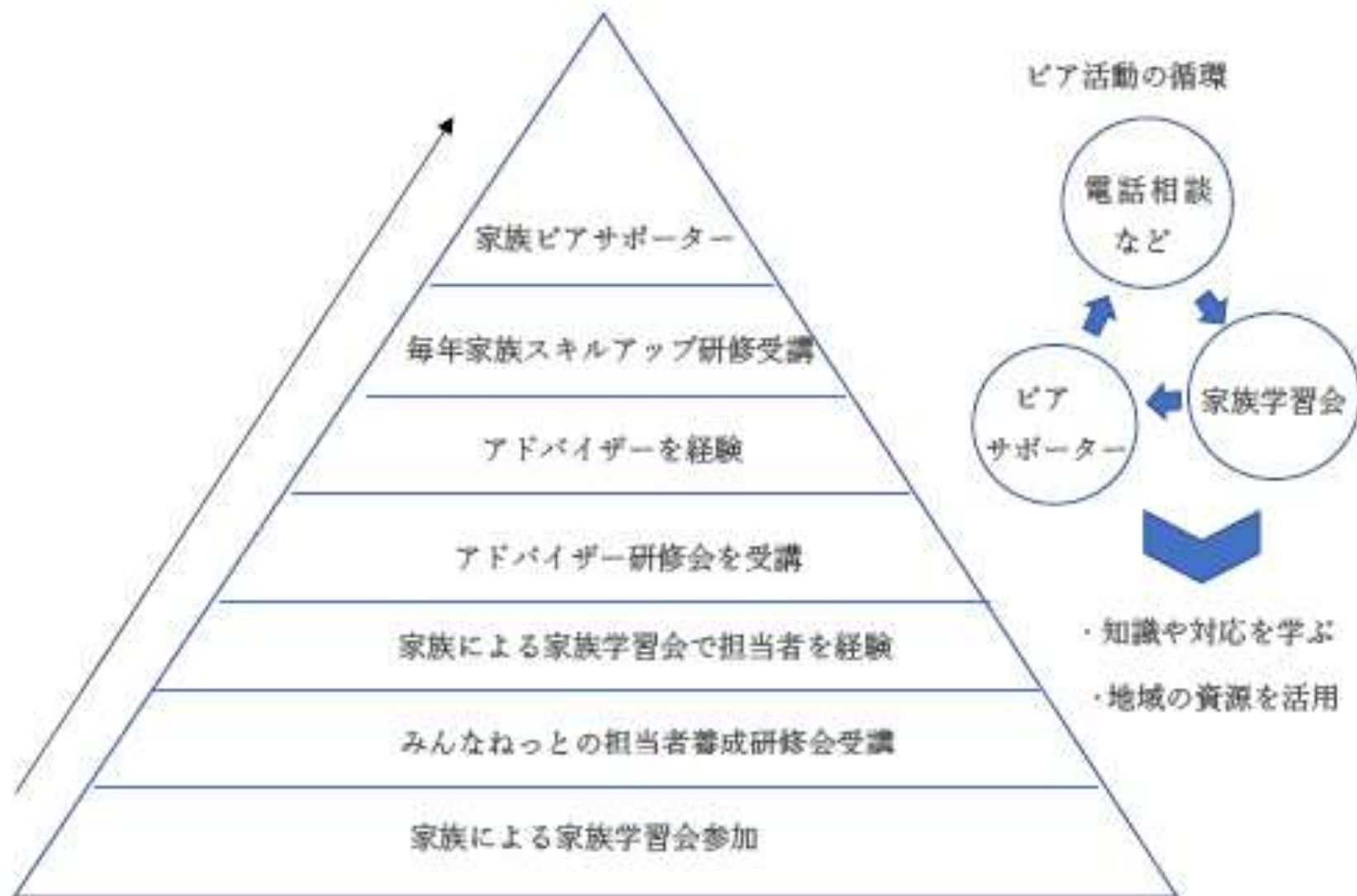
家族学習会を実施するには、関係者の協力が必要です。孤立した家族に参加してほしくても、家族だけで参加者を集めることは困難です。また、会場の確保、交通費などの必要経費も実施を困難にする要因です。

家族が初めて家族学習会を実施する際は、色々な悩みも生じます。身近な相談役として職員の存在が重要です。家族学習会は、家族を支援するプログラムであり、本人を直接支援するものではありません。家族学習会終了後に参加者の個別相談にのってくれる職員の存在も重要です。

関係者による支援

- 参加者集め
- 相談役
- 会場の確保
- 必要経費の確保
- 参加者の個別支援

家族ピアサポーターの養成（岡山県の例）



「家族による家族学習会」 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)・都道府県連合会主催

家族による家族学習会に
参加する

「家族による家族学習会」は参加者と同じ立場にある家族が知識・共有と、家族同士の支え合いの場を提供し、正しい知識や対応の仕方を共に学ぶと共に、家族の孤立感を軽減することを目標に実施している。
テキスト「じょうずな対処・今日から明日へ」NPO地域精神保健福祉機構監修を用いて行う。

- ・クローズド方式 ・5回1コース
- ・担当者3-5人、参加者10人以内(合計10人-15人が理想)
- ・参加者は精神に障がいのある人の家族限定

担当者研修会に
参加する

「家族学習会」参加者としての経験があり、担当者になることを希望する人はこの研修会に参加することが必須条件。
「家族学習会」の担当者として事前準備、運営の流れ、進め方、役割を学ぶ。同じ体験をした同士の援助技術であり、具体的で実践的な事を学ぶ。

家族学習会のリーダー・
コリーダーを経験する

研修会の知識を踏まえて、初めての人が安心して参加できる雰囲気作りや、語り合いの場で「教える側」ではなく、「共通の悩みを持つ同じ家族として接する」事に重点をおき、参加者一人一人が、次につながる活力を持ってもらえるようにする。
リーダー・コリーダーの経験を経て、担当者も同時に力をつけ、家族相互の潜在的に持っている家族自身の可能性・能力の気づきにつながる。

*現在オンライン版の検討・実験も行っている

精神障がい者家族ピアサポーター養成と電話相談などの実践モデル例

ピアサポーター・スキルアップ研修会等に参加する

- ・「家族学習会」担当者や電話相談員養成研修の経験を経て、家族同士の体験的知識に価値をおき、疾患・治療・回復・対応の仕方等の正しい情報を共有し、側面的・よりそいのピア相談員としての知識や情報を学ぶ研修を行う。家族自身の回復に焦点をあてる。
- ・「家族学習会」を開催する家族会に対して、運営のノウハウや個別の相談に応じ、アドバイスを行う。

研修1. 基礎編
(アドバイザー研修会も兼ねる)

- ・実践的な技術を身につける
- ・個別の関わり方、家族ピアサポーターの意義の確認

ピアサポーターとして活動する

- ・共通の悩みを持つ家族の立場で、相談者の体験をねぎらい、「話せた」「聞いてもらえた」と思うように、ねぎらいの気持ちを持って対応する。
- ・相談内容で困ったことや、不安な時はシェアし、対応の共有を行う。
- ・記録をきちんととる。
- ・電話相談員等を務める

研修2. 応用編
(ピアサポーター限定)

- ・実践内容を参加者相互に共有し
- ・ケーススタディを行うことで、相談対応や傾聴のスキルアップを図る。

家族学習会の実績

養成研修等実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
担当者養成研修会受講者	335	294	328	212
担当者	243	243	253	268
稼働率	73%	83%	77%	126%
参加者	384	361	397	381
アドバイザー養成研修会	36	28	33	15
担当者のアドバイザー養成受講率	15%	12%	13%	6%
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
セミナー	香川、石川、青森	宮城、熊本、鳥取	大阪、愛媛、滋賀	福岡、佐賀、鹿児島
担当者養成研修会	北海道、千葉、埼玉、横浜、静岡、愛知、大阪、岡山、広島、宮崎	青森、静岡、新潟、富山、石川、兵庫、岡山、福岡	青森、宮城、千葉、新潟、愛知、大阪、兵庫、福岡、熊本、沖縄	北海道、千葉、静岡、愛知、広島、福岡、佐賀、沖縄
アドバイザー研修会	東京、福岡	東京、広島	東京、愛知	岡山、福岡

家族学習会実績(開催箇所数・参加者数・担当者数)

NO	都道府県	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	累計	延べ数
1	北海道									1	1		1	3	5	6
2	青森											1	2		3	3
3	岩手														0	
4	宮城												1	1	2	2
5	秋田				1	1									0	2
6	山形														0	
7	福島								1	1					0	2
8	茨城			1				1	1	1					0	4
9	栃木														0	
10	群馬				1										0	1
11	埼玉	1	1	2	3	3	4	7	6	6	8	6	7	4	25	58
12	千葉	1	2	4	4	3	8	9	10	8	5	5	2	3	15	64
13	東京		1	2	1		1	1	1	1	4	3	1	1	9	17
14	神奈川		1	2	3	9	9	7	5	5	5	5	3	3	18	59
15	新潟			1									2	2	4	5
16	富山												1	1	2	2
17	石川														0	
18	福井														0	
19	山梨														0	
20	長野						1	1	1		1				1	4
21	岐阜					1	1								0	2
22	静岡			1	1	2	2	4	5	8	7	8	8	10	33	56
23	愛知						1	1			4	3	1		8	10
24	三重					1	1	2	1	1	3	3	1	1	8	14
25	滋賀														0	
26	京都														0	
27	大阪					2	3	3	4	5	6	4	7	7	24	41
28	兵庫					1	1		1	1	1	3	1	1	6	10
29	奈良														0	
30	和歌山														0	
31	鳥取														0	
32	島根														0	
33	岡山			2	3	4	5	5	4	5	4	4	4	5	17	45
34	広島									1		2	2	2	6	7
35	山口														0	
36	徳島														0	
37	香川														0	
38	愛媛							1							0	1
39	高知			1					1			1	1	1	3	5
40	福岡			1	1	1	3	3	2	2	2	2	4	6	14	27
41	佐賀														0	
42	長崎								1	1	2	2	2	2	8	10
43	熊本												1		1	1
44	大分														0	
45	宮崎														0	
46	鹿児島														0	
47	沖縄										1	1	2	3	7	7
総計		2	5	17	18	28	40	45	44	47	54	53	56	56	219	465
参加者		20	43	152	192	261	333	321	336	396	384	361	397	381	1523	3577
担当者		7	27	85	107	163	215	201	205	215	243	243	253	256	995	2220
未実施府県連								実施都道府県				15	16	21	18	
19																

行政からの財源支援一例

埼玉県精神障害者家族会連合会 ピアカウンセリング事業報告(県委託)

2020年度 委託費:1,124,500円

①電話相談事業(744,500円)

携帯電話による電話相談 週4日

- * 相談員45名・携帯電話の持ち回り対応:
週4日(月～木)10～15時
- * 相談員研修会の受講・地区ごとに事例検討会開催
- * 年間相談数:約250件
- * 共感と体験からの工夫や知恵、情報提供

②家族交流支援事業(380,000円)

「家族による家族学習会プログラム」の実施
(県内4～5カ所)

- * 事業に関わる養成研修
担当者55名 アドバイザー15名
- * 家族学習会 4カ所

愛知県精神障害者家族会連合会 精神障害者支援ピアサポート事業(県)

2019年度 補助金:1,482,000円

電話相談事業

- * 相談員10名・交代対応:
 - * 週5日(月～金)9時半～15時半
 - * 年間相談数:約350件
 - * 事務所は県建物で無償貸与

愛知県精神障害者家族会連合会地域連合会 精神障害者支援ピアサポート事業(市)

●名古屋市:家族ピアサポート総合事業

補助金額 4,149千円 (内電話相談に2,400千円)
週2日40人交代制 年間受任電話538人・面接243人

●一宮市:一宮市精神障害者家族相談事業

補助金額580千円
週2日10時～3時 常時2名応対(10人名交代)

●豊田市委託:精神障害者家族相談支援事業

補助金額655千円(令和1年より新設)
* 当事者と家族の居場所としての事業併せての委託
週1日10時～4時 5人交代携帯電話
月平均:電話6件 面談5件 居場所利用者18名

精神障害者家族間のピアサポーター(電話相談員)の養成事業実績(2018年度)

1. 時期:2018年4月～2019年3月
2. 場所:申請のあった都道府県連合会18か所(参加者数833名)、
3. 地域会50か所(参加実数674名)
4. 参加対象:精神障害者の家族
5. 内容:家族ピアサポーターの養成のため講演およびグループワークを行った。また、家族学習会プログラムをマニュアルに沿って実施した

N O	団体名	実施日	参加者数	会場	実施したテーマ内容
1	NPO法人 岩手県精神保健福祉連合会	県南10月5日 沿岸10月22日	県南44名 沿岸24名	花巻市社会福祉協議会 釜石地区生活応援センター	県南、沿岸両会場とも 講師:阿部祐太氏 ・講演「家族相談の在り方や意義について」 ・相談活動発表会「北上地区北和会」 ・グループワーク
2	宮城県精神障がい者家族連合会	1回目 2018年12月5日 2回目 2018年12月23日	1回目30名 2回目32名	仙台市福祉プラザ研修室	1回目: 講師:東北福祉大学せんだんホスピタル柴田知帆先生 ・講演「家族会だからできる相談とは」 ・実践検討会「模擬電話相談」 2回目 講師:社会福祉法人ゆうゆう 全理事長 鈴木一氏

15	公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会	2019年1月25日	60名	福岡県吉塚合同庁舎5階会議室	・講演「相談援助の理論と方法」 ・講師 西九州大学社会福祉学科准教授 橋本みきえ ・グループワーク「相談活動の体験発表」
16	公益社団法人大分県精神保健福祉会	2018年11月10日	34名	大分県総合社会福祉会館	講演1:「効果的な面接技術～聴いてもらえる喜びを届ける」 講師:癒しの森所長 明石次郎氏 講演2:相談員の役割と対人援助について」 講師:とよみ園 陶山武尊氏
17	一般社団法人熊本県精神障害者福祉会連合会	2018年10月26日	32名	熊本きぼう福祉センター	・知識編 講演「家族が家族の相談を受ける意味について」 ・実践編 演習テーマ「『話してよかった!』を生み出す～誰かの力になるために～」
18	NPO法人宮崎県精神福祉連合会	2018年12月1日	28名	宮崎市総合保健福祉センター会議室	・講演:鹿児島県における家族会活動 ・講師:小蓬原千津留(鹿児島県東串良町ルピナス会理事長) 小蓬原昭雄(鹿児島県連事務局長) ・グループワーク(家族相談ハンドブックによる相談学習)

公益社団法人 全国精神保健福祉会(みんなねっと)の概要

ご利用の流れ

3ステップの登録で、すぐに無料でご利用いただけます

かんたん3ステップ!



2020年度日本郵便年賀寄付金の
助成を受けて制作しました

ログイン みんなねっとサロンとは サービスの使い方 みなさまへのお願い お問い合わせ

無料会員登録

みんなねっとサロンは精神疾患・障がいがある方の
ご家族同士が情報交換や相談をしたり
経験や気持ちを共有できるサービスです。

ご家族以外の方の投稿やコメントは、ご遠慮ください。

登録済の方は[こちらからログイン](#)

メールアドレス
パスワード (半角英数字9~20文字以内)
パスワード (確認)
ニックネーム
性別
女性

✓ 利用規約

笑って、語って、つながって

精神疾患・障がいがある方の家族向けコミュニティ

みんなねっとサロン

ログイン

パスワード (半角英数字9~20文字以内)
パスワード (確認)
無料会員登録はこちら

運営について プライバシーポリシー 運営法人

© minnet All Rights Reserved

新しい情報を読み込む

♡ 😊 😞 2件 コメント 4件

びーかん
10月02日 22時50分
親 兄弟姉妹 #もやもや #つらい #吐き出したい #コメントが欲しい
初めまして。
私は今年で30歳になる者です。実家で両親と上の兄弟(現在40歳)と暮らしています。
上の兄弟が、私が...

♡ 😊 😞 1件 コメント 3件

チェリー
60代 / 親
10月02日 16時19分
子ども 接し方 #つらい
38歳の娘に19歳の時に精神科に連れて行った事を
今だに恨まれています。

♡ 😊 😞 1件 コメント 5件

コーヒーの樹
10月02日 12時54分
子ども
16年前に娘が28歳で自死、今家族会に参加、何かお役に立てる事があればと思っていま
す。16年前は掲示板で励まして貰...

♡ 😊 😞 6件 コメント 0件

↑

オンラインチャット「みんなねっとサロン」

<https://minnet-salon.net/>

無料・チャットは匿名でも気軽に使えます

家族内各立場等のグループ活動の展開

こどもぴあ

<https://kodomoftf.amebaownd.com/>



精神に障害がある人の
配偶者・パートナーの支援を考える会

<https://kodomoftf.amebaownd.com/>

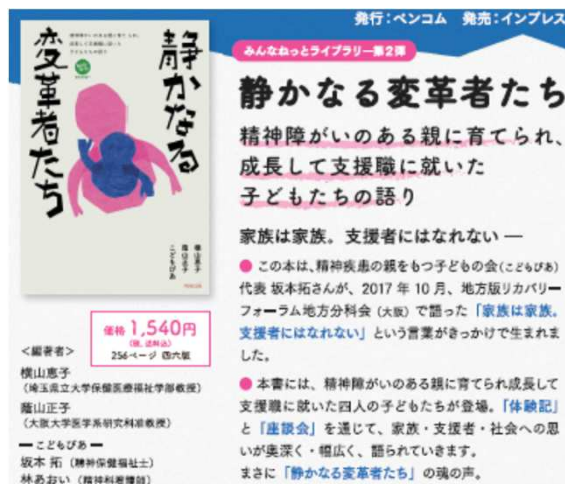


統合失調症LINE家族会Pure Light

<https://purelight-family.wixsite.com/mysite>



各グループとの連携
関連ブックレット発行



◆シリーズ既刊書◆

【シリーズ1 家族編】

追体験 霧晴れる時

著・青木聖久先生

価格:1,430円(税込)



公益社団法人 全国精神保健福祉会(みんなねっと)の概要

1. 設立年月日:平成18年11月30日 特定非営利活動法人発足
平成22年 7月 1日 一般社団法人設立
平成22年12月22日 公益社団法人変更承認
2. 活動目的及び主な活動内容:
当法人は、広く一般市民を対象として精神障がい者の自立と社会参加の促進に資するための社会啓発及び広報活動、精神障がい者とその家族に対する相談・支援、並びに精神障がい者の社会参加等に関する調査研究・施策提言を行い、精神障がい者とその家族の福祉の増進に寄与することを目的としています。
【主な活動内容】・精神保健福祉の向上に資するための社会啓発、広報事業
・精神障がい者とその家族に対する相談、支援事業
・精神障がい者の社会参加を推進するための調査、研究事業
・家族会活動の育成強化及び当事者活動の支援を図る事業
・関係機関、団体との連絡、調整に関する事業
・その他、当法人の目的を達成するために必要な事業
・全国大会・ブロック研修大会の開催
・機関誌の発行
3. 加盟団体数(又は支部数等): 46都道府県連合会 (+山口県準備会オブザーバー)
4. 会員数:正会員46(山口県除く) グループ3(配偶者、こども、LINE) 賛助会員10354
5. 機関誌:月刊11,000部発行 ; メールマガジン 2101通 ; Twitter 1004 ; LINE@ 822
6. 法人代表: 理事長 岡田久実子

月刊みんなねっと購読者募(賛助会員)募集中